



News Release



2020年10月26日

— たましん中小企業景況調査報告 Vol.182 —

景況感は、前期より改善したもののが依然厳しい状況

多摩信用金庫（本店：東京都立川市 理事長：八木敏郎）は、取引先中小企業の景気動向について、四半期ごとに調査を実施しております。今般、2020年8月に実施した調査結果を『多摩けいざい』第94号にて公表しました。

なお、『多摩けいざい』は当金庫各営業店の店頭で配布しているほか、たましん地域経済研究所ホームページ（<https://www.web-tamashin.jp/rire/>）からもご覧いただけます。

調査について

1. 調査実施日 2020年8月11日～9月1日
2. 調査方法 調査員による聞き取り調査
3. 調査対象 多摩信用金庫のお取引先 1,143先
4. 回答先数 1,131先（回答率 99.0%）
5. 回答先内訳 下表のとおり

従業者規模	全業種		製造業		卸売業		小売業		サービス業		建設業		不動産業	
	回答先数	比率	回答先数	比率	回答先数	比率	回答先数	比率	回答先数	比率	回答先数	比率	回答先数	比率
1～4人	349	31%	50	15%	24	26%	103	56%	80	31%	44	23%	48	56%
5～9人	255	23%	64	20%	26	28%	40	22%	44	17%	59	31%	22	26%
10～19人	186	16%	84	26%	19	20%	9	5%	22	9%	44	23%	8	9%
20～29人	91	8%	36	11%	9	10%	9	5%	19	7%	16	9%	2	2%
30～39人	56	5%	23	7%	1	1%	5	3%	21	8%	5	3%	1	1%
40～49人	38	3%	14	4%	1	1%	6	3%	8	3%	7	4%	2	2%
50～99人	93	8%	31	10%	7	8%	13	7%	32	12%	9	5%	1	1%
100～	63	6%	21	7%	6	6%	0	0%	31	12%	4	2%	1	1%
合計	1,131	100%	323	100%	93	100%	185	100%	257	100%	188	100%	85	100%

調査結果の概略

<業況概況>

- 今期の全業種業況 DI は、前期より 23 ポイント増のマイナス 34 となった。新型コロナウイルスによる影響から、依然として厳しい状況ではあるが、緊急事態宣言下にあって大幅に経済活動が制限された前期と比較して、全ての業種において業況の改善が見られた。業種別の業況 DI では、特に変動が大きかった業種として、不動産業（34 ポイント増のマイナス 24）や建設業（26 ポイント増のマイナス 22）が挙げられる。
- 来期は、今期より 3 ポイント増のマイナス 31 となる見通しである。小幅ではあるが、卸売業・小売業を除く 4 業種で改善の見通しとなっている。

	2020.3	2020.6	2020.9	変化幅	2020.12 (見通し)	変化幅
全業種	計	-1	-57	-34	+23	-31
	中規模	10	-55	-27	+28	-24
	小規模	-10	-59	-40	+19	-36
製造業	計	-7	-58	-36	+22	-34
	中規模	5	-55	-25	+30	-24
	小規模	-14	-61	-44	+17	-39
卸売業	計	-10	-60	-40	+20	-41
	中規模	-9	-66	-38	+28	-35
	小規模	-13	-46	-45	+1	-57
小売業	計	-13	-66	-45	+21	-45
	中規模	0	-63	-40	+23	-43
	小規模	-23	-69	-48	+21	-47
サービス業	計	10	-53	-31	+22	-27
	中規模	22	-49	-22	+27	-17
	小規模	-16	-63	-52	+11	-51
建設業	計	13	-48	-22	+26	-16
	中規模	21	-37	-7	+30	3
	小規模	11	-50	-27	+23	-21
不動産業	計	-4	-58	-24	+34	-20
	中規模	15	-67	-25	+42	-28
	小規模	-19	-52	-23	+29	-14
日銀短観(中小企業)		-7	-33	-31	+2	-31

※ 中規模企業：本調査では、製造業・建設業においては従業者 20 人以上の企業、卸売業・小売業・サービス業・不動産業においては 5 人以上の企業と定義しています。

<業況 DI の推移>

